

難聴・言語障害通級指導教室における 支援センター機能について

平成20年4月から、市内の難聴・言語障害通級指導教室が、支援センター機能の役割を担うことになりました。

<趣旨>

戸塚区・栄区をエリアとする小学校に在籍している児童について、以下のような内容で学校支援及び特別支援教育のサポートを行い、児童の教育環境向上に寄与します。

<内容>

(1) 教職員への研修の実施

- ・教職員の方々を対象として、聴覚障害や言語障害についての研修をします。

(2) 周辺校への支援

- ・通級していない聴覚障害児、言語障害児についての実態把握や対応の仕方について、学級担任への助言を行います。
- ・児童支援専任や特別支援教育コーディネータからの相談を受けます。

(3) 特別支援教育コーディネータ連絡協議会への参加

- ・区ごとに開催される特別支援教育コーディネータ連絡協議会に、協力者として参加します。

<連絡方法について>

依頼校の学校長から戸塚小の学校長へご連絡ください。その後、児童支援専任と当通級指導教室で日程調整や内容、方法について相談させていただきます。

<周辺地図>

(平成30年4月現在)



平成30年度 教室要覧

難聴・言語障害通級指導教室
(きこえとことばの教室)
特別支援教育支援センター

ここに
挿絵が
入ります

横浜市立戸塚小学校

〒244-0003

横浜市戸塚区戸塚町132番地

学校長 鈴木 陽一

副校長 澁田 美穂

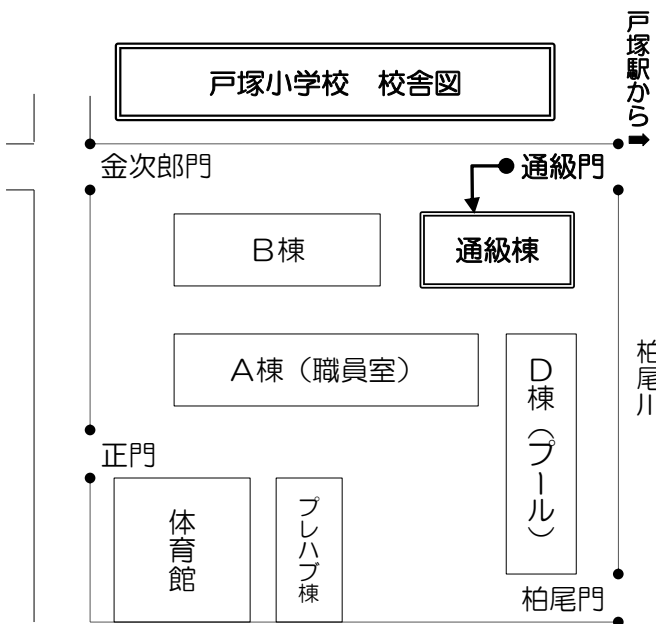
本校Tel 045-881-0049

きこえとことばの教室

教室担当
小口寛子・小島麻子
仲村真由美・浜田賢二
吉田真実子

教室電話・FAX 045-864-2134

戸塚小学校 校舎図



<対象の子ども>

きこえやことばの障害のため、コミュニケーションに課題のある児童。

難聴、構音障害（発音の誤り）、吃音、言語発達遅滞等で、特別な場合を除いて一般の学級に在籍している児童。

<指導目標>

きこえやことばの障害のために阻害されているコミュニケーション能力を高め、自分の障害についての理解を促して、日常生活や学習に主体的に取り組む意欲と態度を育成します。

<指導方針>

- ・教科指導ではなく、聴覚・言語にかかわる自立活動分野の教育を行います。
- ・1対1の個別指導の形態をとることにより、子ども一人ひとりの状態、能力、特性、家庭環境等に対応できるようにします。
- ・在籍校との連携により、子どもの障害や状態に配慮した学習環境の整備を図ります。
- ・保護者が子どもの障害を理解し、適切な対応ができるように支援します。

<指導形態>

通級児のきこえやことばの問題は、それぞれ異なるので、子ども一人につき指導者一人の個別指導を基本とし、必要に応じて小グループ指導や集団指導も行っています。

<指導時間と指導回数>

通級児一人につき90分を通級指導時間として設定し、原則として前半60分を子どもの指導、後半30分を保護者面談としています。

指導回数は基本的には週1回で、状態の改善に伴い、間隔をあけていくことがあります。

<指導内容>

どの障害についても、コミュニケーション意欲と態度の育成を第一としています。

○難聴

- ・聴覚を最大限に活用するための聴能学習。
 - ・補聴器の装用指導。
 - ・言語発達の促進とコミュニケーション能力の育成。
- ### ○構音障害
- ・口腔器官の形態、機能の評価。
(必要に応じて医療機関との連携を図る)

○吃音

- ・吃症状に対する抵抗感や不安を緩和する。
- ・楽な話し方や楽な吃り方の経験を積む。
- ・吃音の症状や特徴について本人と保護者の理解を促し、自己肯定感を育てる。

○言語発達遅滞

- ・言語理解及び表出の基礎となる力を育て語彙を広げる。
- ・日常生活における言語発達を促す働き掛けについて、保護者の理解と協力を促す。

<在籍校との連携>

- ・通級指導教室理解研修（担任者会）
難聴 6月6日 言語 7月27日
- ・学校訪問 10月15日～10月19日
- ・担任者会（個別面談）
11月5日～11月9日

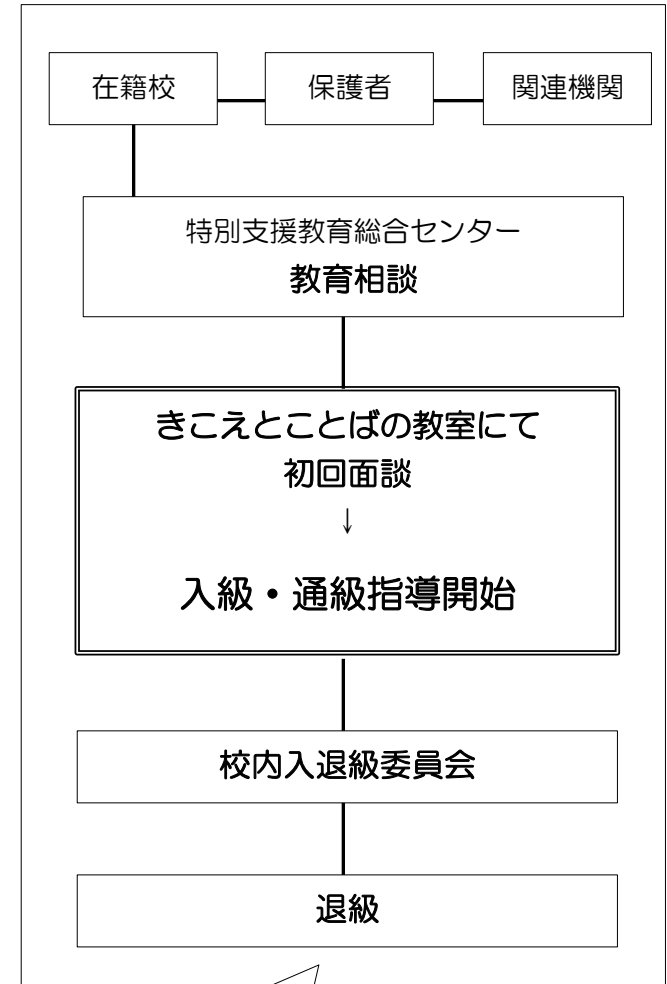
・連絡ノート交換

- ・教室だより「たんぽぽ」及び「指導の記録」送付

<教室行事>

- ・通級式 5月18日
- ・退級式 3月20日

<入級・退級の流れ>



通級に関する問い合わせ先
横浜市 特別支援教育総合センター
TEL 045-336-6002

